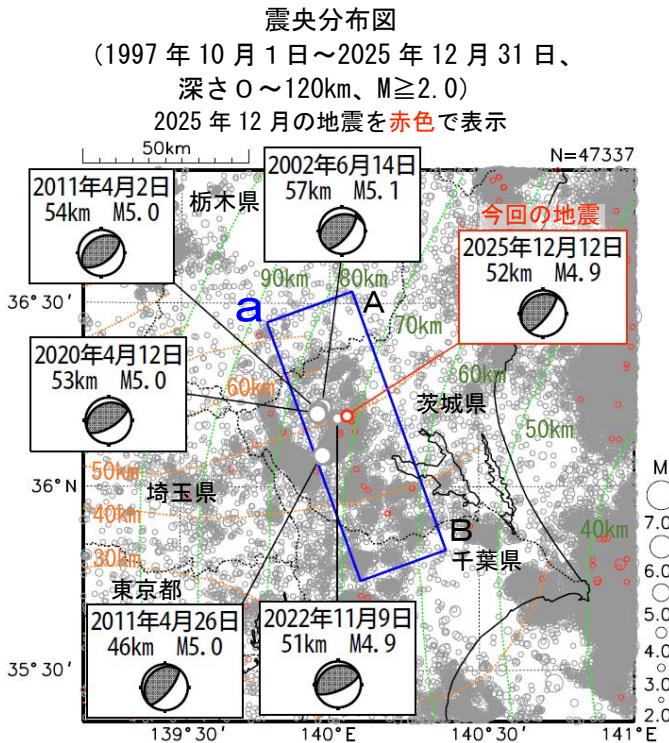
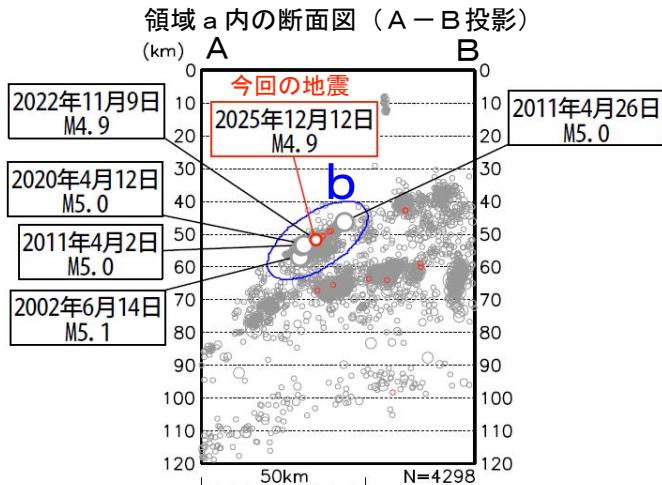


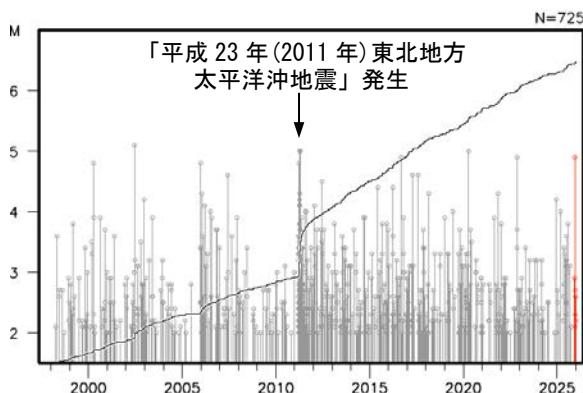
## 12月12日 茨城県南部の地震



震央分布図中の緑色及び橙色の破線は、それぞれ、弘瀬・他(2008)による太平洋プレート上面及びフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。



領域b内のM-T図及び回数積算図

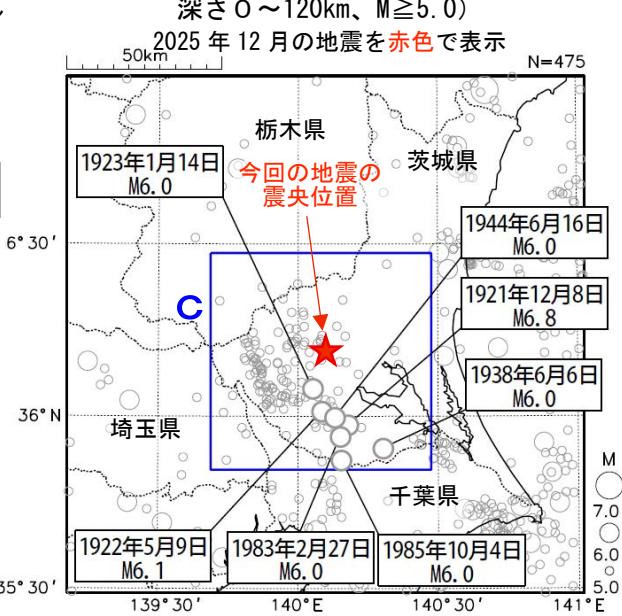


2025年12月12日19時05分に茨城県南部の深さ52kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、地震活動が活発な領域であり、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、2022年11月9日にはM4.9の地震(最大震度5強)が発生し、負傷者1人の被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がまれに発生している。1921年12月8日にはM6.8の地震が発生し、土蔵破損や道路の亀裂などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

**震央分布図**  
(1919年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～120km、M≥5.0)



領域c内のM-T図

